

## 4 「動きのアーカイヴ」って何だろう？

「舞踏譜」がどのように弟子に伝えられ、踊りが生まれたのかを明らかにするために始まったプロジェクトです。

2003年から2007年までのあいだ、土方巽の弟子たちによる踊りを映像で記録しました。2025年にこのプロジェクトを再び始め、最新の3D撮影技術で、動きをいろいろな方向から記録することが可能となりました。

土方巽がこの世を去って40年が過ぎました。しかし土方による「舞踏譜の舞踏」は、弟子たちの身体に、たしかに存在しているのです。

アート・アーカイヴ資料展 XXVIII 「幽暗 Shadow World - 朦朧と立ち上がる土方巽の振付世界」

会期：2026年1月19日(月) - 3月14日(土) 11:00 - 18:00

休館日：土日祝日 1月31日(土)、3月14日(土)は開館 / 2月2日(月)、3月9日(月)は閉館

入場無料

会場：慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館 1F アート・スペース）

主催：慶應義塾大学アート・センター（学校法人慶應義塾）

企画：慶應義塾大学アート・センター土方巽アーカイヴ、ポートフォリオ BUTOH

協力：土方巽アズベスト館、NPO 法人舞踏創造資源、ローザ・ヴァン・ヘンスバーゲン（イエール大学准教授）、  
新明就太（東京藝術大学 先端芸術表現科 非常勤講師、有限会社ケーブル・スタジオ）

助成：公益財団法人 花王芸術・科学財団

本事業の2025年度化学研究費基盤研究（C）『『動きのアーカイヴ』における実証的研究——アーカイヴの創造的利用における国際連携』（25K03758）の助成を受けています。

本事業の鑑賞サポートは、誰もが芸術文化に触れることができる社会の実現に向けて、「東京文化戦略 2030」の取組「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」の一環としてアーツカウンシル東京が助成しています。

しりょうてん  
アート・アーカイヴ資料展 XXVIII

ゆうあん  
幽暗 Shadow World

もうろう た あ ひじかた たつみ ふりつけ せかい  
朦朧と立ち上がる土方巽の振付世界



© 慶應義塾大学アート・センター / 撮影：村松桂（株式会社カロワークス）

てらんかい  
この展示会は、アート・センターのアーカイヴにある、  
ひじかた たつみ しりょう きかく  
土方巽の資料をもとに企画されました。

かみ か ぶとうふ えいぞう さくひん ねんだい じょう  
紙に書かれた「舞踏譜」や映像作品、1970年代に上  
えん さくひん かん いんさつぶつ らん  
演された作品に関する印刷物などをご覧ください。

# 1 土方巽とは、どんな人物？

1960年代に新しい踊りのジャンルを作り上げました。当時は「暗黒舞踏」と呼ばれ、三島由紀夫などの有名な人々が、土方巽を高く評価しました。

1970年代になると、土方巽は弟子たちに振り付けをするようになります。それに使われたのが、ほかにはない方法である「舞踏譜」です。

# 2 舞踏譜ってどんなもの？

「動き」をあらわす「舞踏譜」は、楽譜のようなルールはありません。

「動き」はすべて言葉で書かれています。

たとえば「階段を上がる幽霊」や「子どもを抱いた幽霊」

「目のなかの苺」や「耳の中のタンポポ」「足元から飛ぶバッタ」

また、雑誌などから西洋絵画の作品イメージを切り抜いて貼り付けたスクラップ・ブックもあります。

たとえばピカソが描いた馬の絵、ゴヤの描いたおばあさんの絵

# 3 幽霊に注目してみましょう！

「幽霊」が出てくる舞踏譜から、20点を選んで展示しています。

「幽霊」を踊るために、土方巽によってさまざまな言葉が残されました。

たとえば「幽霊は明るさと暗さの間に溶ける」

「時間と空間を混ぜると幽霊になる」

(引用元:正朔『舞踏馬鹿-土方巽の言葉とともに』、論創社、2022年)

弟子のひとり、小林嵯峨は「幽霊態」の動きについて、以下のように述べています。

① 老婆態を、雑巾をしぼるように上と下に引き伸ばして行って形づくる(老婆態を残したまま)

② 重く長い髪の毛を意識する

③ 長く伸びた爪を意識し、その先端が床に突きささっている

④ 胃を上吊り上げることによって体を浮かせる(決して筋肉で立つのではなく)

⑤ つま先立ち～足を消す(一本足)

⑥ 吐き気

⑦ 背後の巨大な闇を背負う

(引用元:小林嵯峨『うめの砂草—舞踏の言葉』、アトリエサード、2005年)